


整理番号	HT26133	分野	地学	(キーワード)	氷河期, 海水準変動
------	---------	----	----	---------	------------

信州大学

海底の堆積物から読み解く地球史

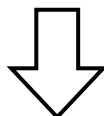
先生(代表者)	保柳康一(ほやなぎこういち)学術研究院理学系・教授			
自己紹介	<p>大学では、地層の成り方と地層に残された記録を読み解き、過去の地球の姿をどのように知ることが出来るのかについて、教えています。出かけることが大好きで、世界中の地層からそれぞれの地域の過去の姿を知りたいと思っています。ニュージーランド沖での海底の地層採取は、様々な国の人と協力しておこないました。</p>			
開催日時・主な募集対象	平成26年8月8日(金)	(対象)	高校生	(人数) 25名
集合場所・時間	信州大学松本キャンパス理学部C棟	(集合時間)	午前9時30分	
開催会場(集合場所)	<p>信州大学松本キャンパス理学部 住所: 〒390-8621 松本市旭3-1-1 アクセスマップ: http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/</p>			
内 容				
<p>過去の地球を知ることは、例えば地震、津波、洪水などの災害に備える上でも大切です。その中で海水面の上昇と下降は、地球の歴史の中で氷河期と間氷期の間で繰り返してきました。これまで、私たちは安定した海面の時期を過ごしてきましたが、徐々に海面は上昇しつつあるとも言われています。海面の上昇は、世界的に同時に起こります。ですから地球を研究している研究者にとって、共通のテーマといえます。2009年に国際共同研究で、ニュージーランド沖の海底を掘って、3000万年もの地球の歴史を記録した地層を採取しました。今回はそのうち、もっとも新しい地層中の小さな化石の観察、粒子の大きさの測定や化学成分の分析などを皆さんと一緒におこないたいと思います。これらのことから、どのように過去の海水準や環境を知るかを理解してもらえたらと思っています。</p>				
スケジュール			持 ち 物	
<p>9:30-10:00 受付(松本キャンパス理学部C棟玄関集合) 10:00-10:30 開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明) 10:40-12:10 講義「海洋掘削が明らかにする地球の変動 (講師:保柳康一)」途中10分休憩 12:10-13:10 昼食, 休憩(海洋掘削に関するビデオなど上映) 13:10-13:30 観察の進め方に関してグループ毎に話し合います 13:30-15:30 微化石観察, 粒度分析, XRF分析(実験室見学含む) 途中10分2回休憩 15:40-16:10 グループ毎に結果をまとめます 16:20-17:00 グループ毎に結果を発表します 17:10-17:30 修了式(アンケート記入, 未来博士号授与) 17:30 終了・解散</p>			<p>筆記用具</p>	
			特 記 事 項	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	信州大学理学部総務グループ(会計)・植木 克之
住所：	長野県松本市旭3-1-1
TEL 番号：	0263-37-2437
FAX 番号：	0263-37-2438
E-mail：	ueki_katsuyuki@gm.shinshu-u.ac.jp
申込締切日：	平成26年7月25日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
保柳康一	H23-H25	基盤研究(B)	23340154	ニュージーランド沖陸棚堆積物試料をもちいた後期新生代汎世界的海水準変動の解析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。